

平成 29 年度第 1 回自治体等 F M 連絡会議大阪府地域会の開催報告について

大阪府地域会代表幹事（高槻市総合戦略部政策経営室）小川 公子

去る平成 29 年 7 月 28 日、大阪樟蔭女子大学との共催により、平成 29 年度第 1 回自治体等 F M 連絡会議大阪府地域会を開催しました。今回も大阪樟蔭女子大学の辻壽一教授のご協力により、小阪キャンパス高智館円形ホールにおいて開催し、大阪府内から 23 自治体 63 名、大阪府外から 4 自治体 4 名、その他 4 名、合計 71 名の参加を頂きました。

今回は 2 部構成とし、午前中の第 1 部では会員市による取組状況の共有をいたしました。計画策定を進めている自治体、具体的な案件が進んでいる自治体など、取組状況は様々でしたが、それぞれの自治体から資料の提供や発表をいただいたことで、地域会ならではの情報交換ができたと感じています。



午後の第 2 部は、会員市以外の参加もいただき講義形式といたしました。まず、大阪樟蔭女子大学の辻 壽一教授より、「夕張市の現状と日本における FM の今後」と題して、実際に夕張を訪問された上での現状と課題のお話のほか、立地適正化計画について制度の概要と課題、FM のこれから、都市改造のコンセプトとしての都市の公園や緑地、オープンスペースについてのご講義をいただきました。

続いて、特定非営利活動法人 日本 P F I ・ P P P 協会 業務部長 寺沢 弘樹氏より、「公共施設等を取り巻く環境と生きる手段としての P P P / P F I ～発想の転換／ユルクトンガル～」と題して、過去の失敗事例の紹介や、現在進められている多数の事例を踏まえ、いかに今までと発想を変える必要があるか、自分ごととして真剣に取り組む必要があるのかをお話いただきました。



その後、建築保全センター保全技術研究所第三研究部次長 池澤 龍三氏にも加わっていただいた上でパネルディスカッションを行い、パネラーの方々の F M に対する考え方や、長期的な展望などをお聞かせ頂きました。

最後は建築保全センターの前田修氏よりご挨拶を頂いて、閉会となりました。

また、地域会終了後は大阪樟蔭女子大学学生食堂にて恒例の交流会を開催しました。ご講演頂いた方々も含め総勢 39 名のご参加をいただき、F M 担当者同士の意見交換や交流を図りました。

会員市以外からも多数の参加をいただき、皆様には厚く御礼申し上げます。

大阪府地域会も 5 年目を迎え、具体的な取組に着手されている自治体も増えてまいりました。F M 関係者が一堂に集い情報の交換や交流を行うことで、相互の連絡機能の強化が図られることが、より一層意味を持ってきたように感じます。各々の F M の推進を図るため、大阪府地域会を継続したいと考えておりますので、今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。